

■□■受験対策ミニ講座 13号 2018■□■

師走も半ば、試験準備まっただ中—といっても少し疲れも出てきて"中だるみ"の時期かもしれませんね。そんな時、志を同じくする仲間と励まし合うのもいいかもしれません。この試験は競争試験ではなく、みんなである一定の合格ライン以上を目指す試験です。ライバルではなく、仲間・ピアとして、励ましあって進んでいきましょう。

今回の過去問とコラムは、頻出項目のスーパービジョン。仲間で行うピアスーパービジョンという方法もあります。

【問題 13 30回 115】—————

ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて最も適切なものを1つ選べ

- 1 スーパーバイザーとは、スーパーバイズする立場の人のことである
- 2 意義は、クライアントへのサービスの質、専門性の質などの維持・向上を図るために業務の振り返りを促すことにある
- 3 管理的機能とは、スーパービジョン関係を用いて情緒的・心理的な面をサポートすることである
- 4 支持的機能とは、専門職としての知識・技術・価値・倫理を習得させることである
- 5 教育的機能とは、業務遂行が可能になるように適切な業務量などに目配りすることである

正解と解説は最後に記載しています。

■Plus Column

【3つの機能と形態が大事】

スーパービジョンは、監督・管理という意味の英語ですが、ソーシャルワークにおけるスーパービジョンは、ワーカーの燃え尽き（バーンアウト）を防止し、専門家としての育成を通じて利用者サービスの向上を図るといった位置づけで行われます。社会福祉士にはスーパーバイザーとして活躍することが期待されており、毎年必ずなんらかの形で出題されています。

まず、スーパービジョンを行うスーパーバイザーと受ける側のスーパーバイジーの関係を理解することが基本です。スーパーバイジーは現場のワーカーで、スーパーバイザーは職場の上司や実習指導者などですが、仲間で行う場合は同僚がスーパーバイザーの場合もあります。

スーパービジョンには、支持的・教育的・管理的の3つの機能があるとされます。感情労働に携わるワーカーの内面を支え情緒の安定を図るのは支持的機能。ソーシャルワークの価値や倫理を伝えるのは教育的機能。ワーカーの勤務状況を把握し組織内での調整するのが管理的機能です。

スーパービジョンの形態には、スーパーバイザーとスーパーバイジーが1対1で行う個人スーパービジョン、スーパーバイジーが複数のグループスーパービジョン、仲間同士で行うピアスーパービジョン、一人で行うセルフスーパービジョン、実践現場で行うライブスーパービジョンなどがあります。

以上のように、スーパービジョンに関しては、意義・機能・形態の三点についての基本知識を持ってください。そして、いくつか過去問を解いてみるとコツがわかってきます。事例問題の形式の出題もありますが、ストレングス、エンパワメント、自己決定といったソーシャルワークの基本姿勢に立ち戻れば、さほど難問ではありません。

仲間と一緒に受験勉強会を開いて、ピアスーパービジョンをするのもオススメです。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【問題 12 30回 115 正解と解説】

- 1 ×正しくは、バイジーはスーパーバイズされる立場の人。

2 ○

3 ×正しくは、支持的機能の説明。

4 ×正しくは、教育的機能の説明。

5 ×正しくは、管理的機能の説明。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus